

※以下、神奈川県立県民ホールは「県民ホール」、神奈川芸術劇場は「KAAT」、神奈川県立音楽堂は「音楽堂」とする。

公演名／会場	ご意見
オープンシアター 2024／県民ホール 大ホール	ミニミニコンサートは多くの観客で盛況でした。15分という時間もお子さんにはちょうど良いと思います。演奏曲も聴きやすい曲で良かったと思います。アンコールは耳なじみのあるアニメの曲とかだと、さらに良かったと思います。大ホールの「くるみ割り人形」はとても良かったです。お子さんの事を考えると特に「プレトーク」は効果的で素晴らしいと思います。あと「生オケ」の伴奏も「バレエ」も素晴らしいパフォーマンスで感動しました。料金設定は、ちょうど良いと思います。家族4人（大人2名、子供2名）でも参加しやすいと思います。 『オルガンの謎を解き明かそう！』 構成がよく練られたプログラム。出演者も大変適している方々だと感じた。クイズ形式により客席参加型の雰囲気も生み出せていた。スタッフの皆さんによる撮影もとても効果的だった(投影しやすい壁面で便利ですね)。また、その準備の様子自体にもスパイス的な効果が出ていた。 『リラックスパフォーマンス「くるみ割り人形」(ダイジェスト版)』 ダイジェスト版とはいえ、満足感が得られた。開演前にオーケストラピットを見に行く方が多数いらっしゃったのも印象的。指揮者登場時には、分かりやすく両手を高く振っていただいてもよいのではないか。記載されているスタッフ名を眺めると、オーケストラマネージャーの記載があってもよいように感じた。偶然出会った知人(お子さん4歳)は子供の集中力がギリギリで、くるみ割りの演目の解説がもう少し短くてもよかったかもとのことでした。 『その他』 ロビー展示、顔出しパネル設置、子供招待枠やリフレッシュシート設定等、来場者へのさまざまな配慮が行き届いていた。ロビーコンサートやみんなの空き地も大変充実していて、来場者の方々はホール全体で繰り広げられた質の高い企画を存分に楽しめたと思う。ロビーコンサートのMCに手話通訳がついていたが、個人的には演奏(音を聴く)現場で手話通訳に初めて接したのが印象的だった。
サルヴァトーレ・シャリーノ作曲「ローエングリン」／県民ホール大ホール	今回の公演は、前半が「瓦礫のある風景」の演奏、後半は「ローエングリン」である。 「瓦礫のある風景」はサルヴァトーレ・シャリーノの特徴である、メロディらしいメロディがない中、各パート（ショパンのマズルカらしいメロディも含む）が沈黙で分断される楽曲？であり、独特の世界感が示されている。後半は、ワグナーの傑作のひとつとしてよく知られているローエングリンだが、今回は、前衛的なオペラとして演じられた。脚本も聖杯伝説を下敷きにした壮大なドラマではなく、そのパロディのラフォルク版をゆるく使った一人芝居？で、全編を通してほぼストーリーも際立ったメロディもないま

公演名／会場	ご意見
	ま、主演の女優が音に合わせて、叫んだり、囁いたり、咆哮したりといったボイスパフォーマンス？が続いていく。若い女優さんだが、かなりの努力を感じた。ただ、高音部分、早口で叫ぶ言葉は聞き取れないのだが、それは意図的なものなのだろうか。いずれにせよ、オペラという総合芸術の最前線を見た気がした。ほかの観客も言っていたが、よくわからないけどすごい、というコメントに共感する。ただ、これを今後繰り返し視聴するかは微妙。観客は、満席に近いグランドオペラの公演とは異なり、それなりに入っているといった状況と見た。また、演者や舞台の関係者と思われる人たちが結構いたように思われるので、業界の関心を引いた話題性のある公演だったと思う。
	現代音楽とはいえ、同じ楽器を扱う音楽公演としては、県民ホールではなく音楽堂を選択すべきではなかったのかと考える。もちろん、前半の演奏に引き続き、オペラ仕立ての演出。あのままでは音楽堂では成立しないが、音楽堂でこれまでも多くのオペラを上演してきた経験値があったはずではないかと思う。少なくとも前半の曲は、音響反射板ありで聞かせるべきではなかっただろうか。非常にとっつきにくいオペラ（と呼ばない方がいいかもしれない）であり、もう少し作品へのアクセシビリティを考えるべきではなかっただろうか。沼野さんが書かれている「曲目解説」は、その大切な道標になったはずだと考える。「本水」を使う演出は、舞台照明とのコラボレーションによって初めて生かされることが多い。今回の演出もその要素が大きかったように思われるが、はたしてそうになっていただろうか。今回のような曲で、オーケストラピットを使うべきだっただろうか。またAFCのような技術をK A A Tでは実践している（リア王の悲劇）のであれば、その効果も活かすべきではなかっただろうか。もちろん、舞台上での演奏も選択肢として考えられなかったのだろうか。
	日本初演のプログラムでしたが、観客の皆さんの終演後の反応の良さから成功だと思います。新しいものを観たいという心理にピッタリはまった企画で良かったと思います。
青島広志の名曲レクチャーコンサート／ 県民ホール小ホール	ワグナーというメインテーマをできるだけやわらかくしようとする試みが良かったです。青島さんと水野さんのトーク内容に思わず笑ってしまう場面もあり、会場内がなごやかな雰囲気になっていて良かったです。演出で水野さんのマンガがプロジェクターで映し出されていましたが、ステージ側面の為、よく見えませんでした。オルガンの前方にスクリーンを設置して、正面から見えるようにすれば良かったのでは、と思いました。 多ジャンルについて造詣が深い青島広志先生ならではの企画。水野英子先生の作品を知り尽くしている、というよりもはや”研究しつくしている”知識量がふんだんに活かされ、かつ分かりやすく解説されていた。両壁に投影された水野先生の作画はとても繊細で美しく丁寧で、ワグナーの世界との親和性も感じられた。水野先生がご披露くださった作画方法や制作についてのお考えは、これまでの長い製作期間の重さを想起させる貴重な情報だったと思う。板波利加、原田勇雅両氏は、ステージ上での待機時間も長く、歌うタイミングも図りがたいご苦労があったと推察するが、終始、講座趣旨に寄り添う姿でいらっしゃり、ステージ全体が和やかな空間となっていた。青島先生の思いがあふ

公演名／会場	ご意見
	れるばかりに(!?), 終演が17:40となったのは、いささか長いのではと思うが、お客様方は熱心に聞き入っていた。水野先生用のマイク調整にご苦労があったのは残念だが、スタッフの方が即時対応されており、また休憩後も青島先生がトークで見事に場を繋いで乗り切り、後半は収音状況が良好、安定したのはよかった。配布プログラムの文字サイズが大きめに印刷されているのは、来場者の年齢層を想定してのことかと思われ、配慮が感じられた。(曲目変更改訂版のプリントは印刷スペース都合で通常サイズとなっていた)
C×Baroque「大塚直哉が誘うバロックの世界」／県民ホール小ホール	バッハのクラヴィーア練習曲は第4巻まで出版されているが、そのうち、第1巻、第2巻を22日に、第3巻を翌23日に公演するという意欲的かつ挑戦的な公演である。そもそも練習曲を取り上げるというなかなか他に見られない試みであったが、結論から言うと、バッハの音楽の別の側面を系統的に聞くという稀有な機会となったように思われる。観客も皆最後までしっかりと演奏を受け止めていたように感じた。演奏自体は非常に長時間であったが、間奏での大塚氏のミニレクチャーにより、企画の意図するところ、演者から見た演目の面白さ、バッハの内面にも踏み込むような洞察など、音楽の理解が深まったように感じ、演奏時間の長さは苦にならなかった。また、チェンバロ（ハープシコード）の音をこのように大量に聞く機会も珍しく、県民ホール（小ホール）の良さを最大に生かした舞台であったと思う。 神奈川県民ホール小ホールのオルガンを活かした企画である。C×Baroque（シー・バイ・バロック）シリーズとして催されていて、音楽だけでなく楽理としても価値がある。大塚直哉さんのナビゲーションが良い。中田恵子さんの解説も素晴らしい。今後も続けるということであるが、神奈川県民ホール以外となるとどうしていくのかが懸念される。 今回は曲数が多く、2回の休憩は奏者、観客の両方に配慮されており良かったです。また大塚さんによるレクチャーも簡潔で分かりやすく興味深いものでした。クラヴィーア練習曲集を連続して演奏する挑戦的なプログラムで、バッハの音楽の素晴らしさを体験できました。 オルガンを2種類使用した点が企画として良かったと思います。それぞれの良さが十分に伝わってきました。特に最後の大塚さんと中田さんのデュエットは短かったのですが全曲演奏を聴いてみたいと思わせるものでした。大塚さんのレクチャー、そして中田さんとのアフタートークとても楽しめました。
眠れよい子よ／よい子の眠るところ／県民ホールギャラリー	作家の方の持ち味が異なっていて、飽きることなく楽しめました。関連イベントが企画されていて良いと思います。可能であれば、各イベントが複数回あれば良いと思います。開場時間が11時ですが、10時からでも良いと思います。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「リア王の悲劇」／芸術劇場ホール	シェークスピアの4大悲劇の一つであるリア王だが、2つの異なる脚本があることを知らなかった。今回はフォーリオ版の舞台化ということで、大変興味深く拝見した。これまで多くの翻訳、演出での舞台があったが、翻訳および演出が新しくなったことでより現実性と生々しさを増す展開となったように思う。ただ、その分、悲劇としての象徴性が少し減ったと感じるのは私だけでしょうか。リア王の振る舞いが時に認知症?の症

公演名／会場	ご意見
	状のように感じられ（以前「Le Père」という認知症の人の舞台を見た時の感触を思い出しました）、急にリア王が身近な存在のように思えてきたりした。また、周辺の人物像もよく言えば人間的に描かれ、傑出した人物像がないことも現代的な特徴なのかもしれない。平日夜だったが、客席はほぼ満席、老若男女まんべんなく入っており、舞台への期待と評価の大きさを感じさせるものであった。最後に、演技について、何人かの出演者の声が聞き取りにくかった。滑舌の問題だろうか、声（音）は聞こえるのだが、何を言っているのかが定かでないのは残念。主演の木場さんは年齢的には高いと思うが、小さな声でのセリフも全く問題なくしっかり聞こえたので、舞台構造や音響の問題ではないと思われる。若手と思しき方々なので、今後に期待したい。 今、話題性のある演出家（藤田俊太郎）にシャークスピアを演出させることは大変魅力的な企画であり、期待される公演になる。また、木場克己をリア王にキャスティングするのもニナガワカンパニー＋シェークスピアシリーズの公演を背景として期待され、木場リア王が大変魅力的な配役となっていた。舞台美術家・堀尾幸雄がシンプルながら作品のポイントを押さえた舞台を創り出している。照明、音響、衣裳などもバランスの取れた舞台となっている。雨は必要だったのだろうか。なくてもこの作品は十分に成立していたように思われる。客席の仮設も必要不可欠だったのだろうが、相当の労力が伴うとすると、投資対効果を検討することも必要になるのかもしれない。ただ、舞台を注視できる環境が整っていたと感じた。AFCを活用していたことを事前に伺っていたが、客席ではその効果を十分に感じ取れなかったほどに、音像の定位と出演者の肉声がナチュラルに聞くことができた。 観劇初心者の私でも楽しめる素敵な内容でした。特に最期のリア王が息を引き取るシーンは良かったです。終演後のアフタートークは演出の藤田さんとリア王役の木場さんの対談でしたが、舞台が出来上がるまでのプロセスの一端がわかり、とても興味深い内容でした。
KAAT×新ロイヤル大衆舎Vol.2「花と龍」／芸術劇場ホール	飲食屋台のアプローチはたいしたことではないが大変に面白い。火野葦平の原作を取り上げること、そして齋藤雅文の脚本も面白い。やや入場料金が低い公演になっている点は、工夫ができなかったか。マチネ公演がどんどんなくなっていくことが興行的に望ましい方向に向かっているのか。栈敷席の有無はともかく、KAATをプロセニウムを全く感じさせない劇場として使うおもしろさが感じられた。この作品はKAATでしか本来の魅力は感じられないだろう。 KAATの狭いスペースを最大限に利用した舞台装置と、開始前に屋台を開設し、また座敷席を設けるなど、時代感を再現した空間設定など大いに工夫を感じ取ることができた。 迫力のある内容で、3時間超えを感じさせない舞台でした。今回のように幕間に説明があると分かりやすいです。アフタートークの内容がとても良かったです。プログラムの内容の理解にもつながるので、継続をお願いします。舞台上に屋台を置くという試みは、とても良いと思います。花道から客席にいくのも貴重な体験でした。

公演名／会場	ご意見
KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」／芸術劇場大スタジオ	子どもを対象とした作品を制作していくことは、これからの劇場にとっては大変重要な視点である。また、子どもだけを対象とするのではなく、この作品も含めて大人もみられる作品として創っていくということも大切ではないか。鑑賞当日は、対象日ではなかったが「字幕タブレット」の貸し出しができる公演が3公演あるのも聴覚障害者のアクセシビリティの向上に寄与できるのではないか。実際の利用件数がどれくらいあるかも知りたいが、まずそのような試みをしていることを常に発信していくことが大切ではないか。様々な組み合わせチケットが販売されていることも好感が持てる。これ以上複雑にすることを望んでいるわけではないか、「こども＋高齢者（60歳以上）」のように孫とおばあちゃんのような組み合わせチケットもあってもよいかもしれない。そのことが世代間交流のきっかけになることも期待したい。県民割に「在勤者」が含まれているのが良い。終演後にバックステージツアーとして、舞台で使用された着ぐるみなどに触れる体験ツアーが用意されているのが、このようなキッズ・プログラムでは重要なように思えた。
	作品は演出・美術・衣裳・照明・音響ともに高いクオリティで、優れた創造性と専門性があった。鑑賞者が作品に関与する演出も含め、子どもたちに向けて非常に良質な文化芸術体験を提供している。バックステージツアーについて、舞台セットや小道具、衣装展示は見応えがあり、舞台芸術の振興に資する内容であった。バックステージツアーの質問コーナーでは、登壇者が質問への回答について主催者に判断を仰ぐような場面があった。予めの共通認識を持つべきだった。公演初日のためか、関係者や俳優の固定ファンの来場が多いように見受けられた。次ステージ以降、主催者がメインターゲットとし、主たる受益者であるべき神奈川県民及びファミリー層が多く来場することを期待する。子ども向け公演で、上演時間90分＋バックステージツアーは長い。
	キッズ・プログラムといっても、大人も楽しめる内容でした。色々なところにお子さんの興味を引くもの（演技、衣装、装置、音響、照明等）が表現されていたので、お子さんも飽きることなく楽しめたのではないかと思います。とても良い料金設定だと思います。※特に、こども（4歳～高校生）1000円。バックステージツアーは、良いと思います。お子さんが多かった事もあり、ほぼ全員に近い観客の方が参加されていました。質問コーナーもお子さんならではの内容が多く、感心しました。
KAAT × Vanishing Point「品川猿の告白」／芸術劇場大スタジオ	今回の公演は、村上春樹の同名の短編小説を下敷きにした、マシュー・レントン演出による、ヴァニッシングポイントとKAATとの国際共同公演である。演出方法の斬新さは定評通りで、照明の使いこなし方や、コロスと呼ばれる群像が醸し出す存在感、猿の尾を扱う人形遣いの巧みな技など、様々な意匠が凝らされていて、十分に堪能できるのであった。また、日英双方の言語による進行にもさして違和感はなく楽しめた。ただ、村上春樹の世界観にどこまで共感できるかはまた別の話のように思われる。土曜のマチネであったが、空席がちらほらあるだけで、予想以上の入りのように見えた。90分インターミッションなしの公演だったが、特段の問題もなく、逆に集中して観劇できたと思われる。先駆的な表現方法を追い求めるKAATならではの公演といってよい。
	村上春樹原作の話を脚本と出演者の配置（日英の役者）により、見事に演じている。

公演名／会場	ご意見
	人間と猿、また人間と人間で会話が通じているようで通じていない不条理が日本語と英語による演出で再現されており、見ごたえのある劇であった。 日本語と英語のセリフが出てきたが、字幕のタイミングがピッタリで全く違和感はありませんでした。場面転換も素晴らしかったです。会場の大きさとプログラムの内容がピッタリで楽しめました。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待っとく」／芸術劇場中スタジオ	アメリカ占領下の沖縄での米兵殺傷事件を下敷きにした、沖縄在住の新進気鋭の劇作家による、沖縄と日本の関係性を問う？演劇作品。前回公演も評判を呼び、多くの賞を受賞した作品で、ネット上での好評価もあって、期待をもって拝見した。テーマ自体は極めて重たく、多岐にわたる論点を含みうるが、イントロはあくまでも明るく軽妙な掛け合いで始まる。いずれも優れた俳優によって笑いを織り交ぜながらストーリーは展開していくのだが、裁判に差し掛かるあたりからメッセージが拡散、希薄化して行くような気がした。事実（現実？）と乖離していくといったほうがいいかもしれない。不条理な決まりに支配される劇中ストーリーに観客も取り込まれ、他人事でない不安感を味わうというのが主催者の意図なのかもしれないが、最後はあまりに唐突に終了した感が否めず、戸惑った。前列斜めに座っていた若い女性が涙をぬぐいながら拍手するのを眺めつつ、（加齢による？）感性の劣化を感じた。ただ、帰途、幾人かの人たちが最後わかりにくかったねと明るく話しているのを聞き、人によって受け取り方が異なるのは当然かと思い直した。 優れた作品を再演していくことは大変重要である。作品を沖縄で上演することで、沖縄県民の評価を受けることも大切なことである。初演を観られなかったが、キャスティングや脚本の進化に併せて演出も成功させているという点も重要である。アフタートークを通して、さらに作品の背景などを伝えることも好感触。シンプルなセットであるが、過去と現在をうまく使い分けている点もよい。沖縄県人で、戦争を知らない若い世代が戦争によって失ったものを描いていく試みに関心を持った。また、兼島さんに脚本を書かせる選択もよかったと考える。 舞台と客席の距離が近く、ライブハウスにいるような迫力を感じました。入場料金は、他の会場との比較で高いと思います。平日は昼公演のみでしたが、夜公演の日もあったほうが、多くの客層の方に来て頂けるのではと思います。
KAAT EXHIBITION2024 「南条嘉毅展」／芸術劇場中スタジオ	スタジオ内が暗い為、場内で配布されたテキストを読むのはむずかしいと思います。入場口で配布して、一読して場内に入る流れがあれば良いと思います。プログラムの内容は、画像もきれいで音楽もゆったりとながれており、とても心地よい気分になりました。開始時間は11時ではなく、10時からでも良いと思います。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「愛と正義」／芸術劇場中スタジオ	作家や舞台美術家、衣装デザイナーなど新しい才能が新しい試みを始める期待を感じる。ソフレ公演に限られてきているのが気がかりである。もちろん、興行的に望ましい方向を模索していただきたい。中スタジオをスリーサイド客席で使う公演もあまり多くはないが、レアなケースとして大変楽しめた。肉声の方が勝つような空間でありながら、歌声が違和感なく聞こえたのは、何らかの音響的工夫が行われているのだろうか。 脚本や演出が分かりづらい、理解しがたい点が多々あった。内容に問題あり

公演名／会場	ご意見
	スピード感のある展開で、音楽もロックありテクノありバラードありと飽きさせない内容でした。キャストの方の演技が良く、歌唱も見事でした。セリフと音楽と踊りのバランスがとても良かったです。スタジオの中央に舞台を置くことで広い空間を確保し、それが迫力につながったと思います。
シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクトVol.3／音楽堂	すべてのプログラムが初めて聴く曲でしたが、出演者の方の演奏が良く、楽しめました。今回の料金設定であれば、新たな聴衆を引き込む事が可能だと思います。
	ロビー展示で「ぬ」の字を見て、自分もすぐさま「ぬ」の字を書きたい衝動にかられた。作品への興味を引き出す仕掛けとして効果的だった。出演者の皆さんが口々に、ホール職員の方々との協業に謝辞を述べられていたのが印象的だった。実験的な取り組みには、施設の協力が不可欠であり、職員の皆さんの支えがあってこそ、充実した事業と成りえたのだと思う。マキシマム電子合唱団さんの客席面に設置した装置が予定通りに作動しなかったのは残念だった。(出演者のお一人が開演間際(開演後も)修正(?)に苦慮されて、本番衣裳に着替える時間もなかったようでしたね。)
子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せかいはともだち！」／音楽堂	『音と絵本とオサカナと』 演奏、朗読、参加コーナーと、お子さんが飽きない構成になっていて良かったです。 『あなくま島々沖縄メロディー』 スライドを使った説明や英訳での説明など、工夫があり楽しめました。歌の歌詞の内容が字幕であればさらに良かったと思います。 『クメールダンス』『カポエイラ』 お子さんが参加できる内容で良かったです。 当日は、一日音楽堂にいましたが、午前と午後のインターバルは1時間で良いのではと思います。
2人のアムランデュオリサイタル／音楽堂	9月10日時点での空席情報は「余裕あり」となっていましたが、シルバーと高校生以下は予定枚数終了となっていました。シルバー席は一般席と500円の差ですから、席数の枠をもう少し拡大してもよいのではと思います。
	アムランという同姓であることがデュオのきっかけの一つのようだが、異なる世代、似て非なるアプローチのピアニストによる競演は大変興味深かった。ソロも含めた多彩なプログラムで、作品はもちろん、ピアニストの魅力もたっぷり味わうことができた。
第57回音楽堂クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲／音楽堂	ヘンデルのメサイアという世界で演奏される名曲をこの時期に合わせ、定期的に上演していること、合唱がベテランから高校生まで多くの市民参加によるものであること、音楽堂の音響環境を最大限に生かすという点でも大変優れた企画である。今後もぜひ継続していただきたいと思います。多くの観客が入り、皆満足度も高く、素晴らしい公演であったと思われる。これだけの公演にしてはチケット代も極めてリーズナブルである。ソリストものびのびと歌っていたように思うが、一部音程に不安が感じられたこと、また、今年は合唱が非常に強力で、オケやソリストを凌駕する音量だったように思ったのですが、これは私だけでしょうか。
	観客の方の客層から、毎年楽しみにしておられる方が多いのだなと思いました。来年の告知までされていたのには驚きましたが、効果は抜群だと思います。メサイアは英語

公演名／会場	ご意見
	歌詞ですが、可能であれば、字幕付きの上演が良いと思います。
楽堂室内オペラプロジェクト第7弾 濱田芳通&アントネッロ モンテヴェルディ オペラ「オルフェオ」 ／音楽堂	今回、オペラ黎明期の傑作のひとつモンテヴェルディの「オルフェオ」を70周年記念事業として開催されたことは、音楽堂の特色をよく生かした絶妙な選択として高く評価したい。初期バロックオペラであり、オペラの可能性の萌芽が詰め込まれた楽曲は、音楽堂の音響の良さや、客席の規模によく調和したもので、指揮者、主役の演者も素晴らしく、全体的に大変優れたパフォーマンスだったと思われる。また、プロジェクションによる舞台背景の変化も表情豊かで楽しめるものであった。ほぼ満席に近い観客も大いに満足したと思われ、終演後も多くの人が余韻を楽しんで席にとどまっていた。ただ、若干年齢層高めである。U24を半額にした効果はいかほどだったのだろうか。こういった素晴らしい公演はできるだけ多くの方々、特に時代を担う若い世代に経験してもらいたいものである。
	このシリーズは大変に価値のある仕事だと考えている。今後も続けて行っていただけることを願う。今回の公演が兵庫でも上演されることに大変関心がある。もちろん、1回公演しか行えないことが残念である。映像が大変に美しかった。黄泉の国への渡し、黄泉の国など工夫があった。古楽器を使った演奏、モンテヴェルディの時代の音を再現する試みは大変興味深い。
	内容や出演者は良かったが、舞台装置や衣装が貧弱な感じがした。
	古楽のアンサンブルと歌手の方が一体となって、とても良い舞台でした。背景の変化とライティングで場面転換もきちんと表現されており良かったです。字幕の表示はボードも活字も大きくて見やすかったです。（原語上演の場合はあると助かります。）
	音楽堂の舞台を生かした舞台装置とプロジェクションマッピングによって、奥行きが広がり、各場面展開も効果的だった。歌手と演奏と演出、それぞれが一体となり素晴らしい世界観がつけられていた。満席の会場は、開演前から期待感にあふれていて、終演まで集中して鑑賞していた。

II 広報宣伝 気づいた点（良かった点、工夫が必要な点）

公演名／会場	ご意見
オープンシアター 2024／県民ホール 大ホール	オープンシアター2024のページは、トップページに当日のスケジュールが時系列であると、わかりやすいと思います。（11:00～〇〇〇、12:30～〇〇〇、14:00～〇〇〇）配布されたその他の公演のチラシは、絞り込まれていて良かったと思います。特にお子さん向けの公演の案内が多く入っていたのが良かったと思います。
	客席の雰囲気から察するに、広報は十分に行き届いていたと思われる。ホームページは単日複数企画の掲載だが、大ホール、小ホール等、会場毎の情報ヘジャンプできるボタンも設置されていて便利だった。
サルヴァトーレ・シヤリーノ作曲「ローエングリン」／県民ホール大ホール	神奈川県民ホールの開館50周年記念オペラシリーズの一環であり、広報は充実していたと思われる。また、休館前の最後のオペラ公演として、かなり特異な公演を持ってきた勇気と挑戦は評価したい。ホームページでの関係者のメッセージもよかった。（もう少し掘り下げてあるとより理解につながるかも。）ただ、チケットの金額からいっても、

公演名／会場	ご意見
	一般市民がふらっと見に来るようなものではないように思われる。また、前衛性の際立つ舞台は従来のオペラファン、県民ホールのファン層にどう受け止められたのだろうか、気になるところである。
	作品の魅力が伝わるフライヤーだろうか。シャリーノのメッセージは、初めての観客をインキュベートする訴求力を持っているとは思えない。そもそもリピーターを増やすいつもの努力が散見されないように思えた。
	ホームページは、トップページのすぐ後がスケジュールでとてもわかりやすかったです。所用時間の目安もあり、観客の方には親切です。可能であれば、事前配布のチラシにも掲載できれば良いと思います。あとは現代曲なので曲の音源の紹介があるとわかりやすいと思います。神奈川地区以外のチラシが多いと思います。あまり重いと廃棄にもつながります。
青島広志の名曲レクチャーコンサート／ 県民ホール小ホール	ホームページは、出演者のプロフィールメッセージが、わかりやすくて良かったです。また当日、物販コーナーがありましたが、事前に告知があれば、観客の方に親切だと思いますし、売上増にもつながると思います。配布されたチラシは、出演者関連のものが多くて良かったと思います。
	青島先生講座のリピーター、水野先生ファンのお客が多かったのだろうと思われる。空席も多かったが、どういう先に広報すると興味を持っている層にリーチできるのか悩ましいところ。(来場者アンケートから検証できるとよいですね)
C×Baroque「大塚直哉が誘うバロックの世界」／県民ホール小ホール	ホームページでの情報は一通り掲載されており、十分である。小ホールだが、観客の入りもよく、おそらく固定ファンと思われる年配の方が多いものの、女性、若い人もそれなりにいて、世代を超えるリピーターの存在を感じさせる。大塚氏によるミニレクチャーは、既述のとおり大変充実したもので、観客の受け止めもよく、これだけ長時間にわたる演奏であっても、その長さをあまり感じさせない良質な公演であった。(今後、ホール閉鎖の中、これまで培ったリピーターや観客との関係性はどのように維持されるのでしょうか。)
	「ありがとう神奈川県民ホール」の一環として、神奈川県民ホール小ホール最後の公演ということでもあり、ほぼ満席での公演となった。残念ながら、リピーターにつながるかどうかは不明。
	トップページからの流れは見やすく良かったです。バロック音楽初心者の方の為にチェンバロの演奏の動画があればさらに分かりやすくなると思います。
	ホームページの内容は良いのですが、初心者の方にはやや難しいかもしれません。オルガンが2種類ありましたが、その説明があれば身近に感じられると思います。音源があればさらに効果大です。
眠れよい子よ／よい子の眠るところ／県民ホールギャラリー	それぞれの作家の方の紹介(作品の写真)と実際の展覧会の内容がリンクしていて良かったです。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リ	河合正一郎の新訳、藤田俊太郎の演出と話題性の大きな舞台であったと思われ、多様な媒体で対談の模様など発信されている。演劇ファンには訴求したと思うし、こういっ

公演名／会場	ご意見
ア王の悲劇」／芸術劇場ホール	た舞台を提供できる劇場としてのKAATの存在感は示せたと考える。また、それぞれの出演者の関係者と思われる客や、一人でやってくる演劇ファンなどが散見された。ただ、チケットの金額からいっても、一般市民がふらっと見に来るようなものではないように思われる。
	迫力あるフライヤーデザインで、同時期のリア王公演との差別化が感じられた。小学生から高校生までを無料招待する。さらに同伴の大人を半額にするという試みは、全国でもまれではないだろうか。新しい演劇の観客をつくりだそうとするKAATの姿勢がよくわかる試みであるが、実際どの程度の効果（集客につながっているのか）があったのか伺いたい。HPでは、作品の創造過程を小まめにレポートしているが、見出しだけではとっつきにくい感がある。小さくてもいいので画像情報が見出しについているとアクセスしやすくなるように思うが、どうか？
	ホームページは、ピックアップムービーでステージの雰囲気わかり良いと思います。「RADIO KAAT Vol.25」は、字幕の誤字脱字が多くて困ります。また収録時間が1時間を超えるのは長すぎると思います。トップページからの流れでいうと、次に確認したいのは「スケジュール」だと思います。また「上演時間約3時間10分」の案内があり良いと思いましたが、スケジュールの所に記載したほうが良いと思います。入口で袋に入ったチラシを配布していましたが、量が多く重さもけっこうありました。もう少し絞り込みをしても良いと思います。
KAAT×新ロイヤル大衆舎Vol.2「花と龍」／芸術劇場ホール	鑑賞サポート付き公演の試みが期待できる。この作品でリピーターを増やす試みに貢献できるだろうか。ただし、地方での公演では、公立劇場が制作する作品としての力量が伝わるのではないかな。
	スケジュールは当日券情報のあとに入れたほうが親切だと思います。上演時間の表示はありがたいと思います。「RADIO KAAT Vol.30」は字幕の誤字脱字が多いです。稽古場の映像は、とても良いと思います。その他の公演のパンフレットはセルフサービス式で良かったです。ただし、量が多いので、もう少し絞り込みができればと思います。
KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」／芸術劇場大スタジオ	HPで逐次情報を更新、発信していることはすばらしい。ただし、HPは関心がある方がアクセスしないと情報が獲得できないツールであるという最大の欠陥がある。そのことを承知の上で、この作品を観ていただきたい観客にどのようにアプローチできたのかということがわかると評価の仕方も変わるような気がする。「らんぼうものめ」を長塚圭史RADIO KAATで取り上げているが、画面にでる字幕スーパーに誤字・脱字が散見される。健常者である我々が聞きながら、文字を追うと誤字・脱字があったことに気が付くが、聴覚障がい者の方は、字幕スーパーだけを見ると表示内容の意味が理解できないうで、混乱をすることが懸念される。
	報告者は神奈川県内に家族で在住しているが、報告者の子ども（小学生）は当該公演のことは全く知らない
	ホームページは、公演スケジュール（日別の開演時間）が、かなりうしろにあったので、前の方に持ってきたほうが親切だと思います。また「RADIO KAAT Vol.24」について内容は良いと思うのですが、字幕の誤字脱字が多くて困ります。

公演名／会場	ご意見
KAAT × Vanishing Point「品川猿の告白」／芸術劇場大スタジオ	マシュー・レントンと長塚圭史の対話をYOUTUBEで流すなど、メイキングの背景も発信していることも評価できる。（もう少し掘り下げてあるとより理解につながるかも。）チケット価格もリーズナブルで、演劇ファンを満足させるものといいてよいと思う。 スケジュールは当日券情報のあとに入れたほうが親切だと思います。上映時間の表示があるとありがたいと思います。「RADIO KAAT Vol.28」は字幕の誤字脱字が多いです。その他の公演のパンフレットはセルフサービス式で良かったです。ただし、量が多いので、もう少し絞り込みができればと思います。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待っとく」／芸術劇場中スタジオ	観客は女性、若年層が多いように感じたし、ウェブ上での好評価からもこういった演劇に敏感に反応する層に十分アピールできたのではないかと思います。 初演と全く同じフライヤーのデザインであるが、前回の公演を見過ごしてしまった観客への訴求力はあったのではないかと。 トップページの日時の部分に上演時間の表示があったほうが良いと思います。（チラシも同様。）RADIO KAATの字幕の表示が、見づらいと思います。（句読点がない、脱字がある等）
KAAT EXHIBITION2024「南条嘉毅展」／芸術劇場中スタジオ	事前配布のチラシと当日のプログラムの内容がリンクしていないと感じました。RADIO KAAT NO.26を観ましたが、誤字、脱字が多いです。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「愛と正義」／芸術劇場中スタジオ	なかなかハジけたチラシになっている。観劇後であればこのデザインも理解ができるが、初見では受け入れにくい印象がある。託児サービス、アフタートーク、県民割、U25割引など充実している。シルバー割はもう少し割引率をあげてもいいのではないかと。 舞台写真はイメージをつかむのに役立ちました。スケジュールは当日券情報のあとに入れたほうが親切だと思います。「RADIO KAAT Vol.31」は字幕の誤字脱字が多いです。今回はその他の公演のパンフレットが座席にセットされていましたが、入場口でのセルフサービス式のほうが良いと思います。
シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクトVol.3／音楽堂	7月12日（金）の新聞掲載の広告を見ましたが、「紅葉坂プロジェクトVol.3」のタイトル他では、内容がわかりにくいと思いました。文字数が限られた場合の表示の仕方が必要だと思います。スペースのあるホームページは、出演者（演奏者）の紹介を具体的にしても良いと思います。作曲者の紹介も必要ですが、誰が演奏するのかが知りたい方もいるのではと思います。また、動画を活用するのであれば、音源（ワークインプログレス等）の紹介も選ぶ参考になると思います。最後に、ホームページの末尾の「サントリー芸術財団佐治敬三賞推薦コンサート」の一文は、トップページに掲載するとインパクトがあると思います。 委員のコメントやYouTube等で、作品への期待が膨らむホームページとなっていた。
子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せか	ホームページはスケジュールの内容が時系列になっていないため、やや見づらいと思います。あと各演目の終了時刻は目安でもよいので入れたほうが親切だと思います。今

公演名／会場	ご意見
いはともだち！」／音楽堂	回は別の公演チラシの配布は、なしでしたが、お子さん向けの公演のものを配布しても良いと思います。
2人のアムランデュオリサイタル／音楽堂	ホームページを開けると自動でスクロールする画面がでしたが、切り替えが早すぎて観づらいので、手動のほうがよいと思います。今回の公演については、ピックアップムービーが良かったです。特にプログラムの曲の演奏が入っており、良さが伝わる内容でした。プロフィールがPDFを開けないと確認できないのは不便だと思いました。
	ピアノデュオ公演、集客も難しいジャンルと想像するが、券売好調のようだった。熱心なお客様が多い印象。客席は集中が途切れることなく、ホールに一体感があつた。魅力的なプログラムに惹かれました。また、「2人のアムラン」というタイトルはインパクトがあつたと思う。
第57回音楽堂クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲／音楽堂	音楽堂の定例公演であり、既に顧客がついていると思われる。ほぼ満席であるが、広報がいつも以上に積極的に行われたといった実感はあまりない。ただ、合唱参加者の家族や友人知人と思われる世代の観客も多く見られる一方、一人で気軽に来られたと思しき観客も若年から熟年まで幅広くいらっしゃったようで、多様な市民に受け入れられていると感じる。
	開演時刻のあとに終演予定時刻を入れてもらおうとありがたいです。(イベント後の予定が立てやすい)当日ホール内に掲示できるのでから、事前告知も可能だと思います。他の公演のパンフレットはKAATのように、セルフサービスにしても良いと思います。
音楽堂室内オペラプロジェクト第7弾 濱田芳通&アントネッロ モンテヴェルディオペラ「オルフェオ」／音楽堂	しっかりした固定客を持つ音楽堂の周年事業であり、これまでのファン層がかなり動員されたように見受けられた。ただ、若い世代からボリュームゾーンの熟年層まで幅広い層が見られ、一人あるいは友人家族同伴など多様な市民が楽しんだことは高く評価できる。今回もほぼ満席であるが、これは他の定期公演でも同様に、広報がいつも以上に積極的に行われたといった実感はさほどない。ただ、ホームページの特設ページは充実した内容で、興味を引いたのではないだろうか。
	このシリーズについては、広報をしなくとも一定程度券売が期待できるのではないかな。無料の当日プログラムも充実していて良い。フライヤーのデザインは、少し工夫があっても良いか。
	NEWSの項目で【見どころ聴きどころ】はとても分かりやすくて良かったです。トップページから特設サイトを見たのですが、その下にもオペラプロジェクトの特設があり、迷いました。情報の重複もありました。コンパクトにまとめたほうが良いと思います。音楽堂や県民ホール以外の公演のパンフレットはKAATのようにセルフサービスでも良いと思います。※今回の配布内容は音楽堂、県民ホール関連が5種、その他が17種でした。
	特設ページもあってわかりやすかったと思われる。ぶらあぼ等への事前広報でも、効果的に周知できていたと思われる。

III サービス 気づいた点（良かった点、工夫が必要な点）

公演名／会場	ご意見
オープンシアター 2024／県民ホール 大ホール	小ホールは、イベントには参加できませんでしたが、終演後のホールに入ってみました。まだ多くの親子連れの皆さんが順番にステージ上でオルガンを眺めたり、写真を撮ったりしていました。係員の方も皆さんに話しかけて質問などに笑顔で対応されていました。誘導の係員のかたも丁寧に應對されていました。お子さんは好奇心が旺盛ですから、実際に楽器の音を出してみる等の体験コーナーがあればさらに忘れられないイベントになると思います。大ホールに入る前に係員の方にチケットを見せて「どこから入場したらよいですか」と聞くと丁寧に案内してもらえました。大きいホールの場合はこのサービスは本当に助かります。会場内ではフロアに席の列番号が表示されていて席を探すのにわかりやすかったです。大ホール内で、着席後に「お子さん用のクッション」を取りにいかれる方を見かけました。入場の際に声掛けと配布ができれば良いと思います。
	一目でわかる黄色Tシャツでスタッフの方々の認知が容易にできた。またスタッフ数も十分だったと感じた。
サルヴァトーレ・シ ャリーノ作曲「ロー エングリン」／県民 ホール大ホール	いつも思うことだが、チケットも紙での配布などDX化が遅れている。休館後のリニューアルオープンの際にはぜひできるだけDX化を進めていただき、効果的なデータ管理と経費節減につなげてほしい。
	開演前の入場口はきちんと係員の配置がされておりスムーズでした。パンフレットの配布はセルフサービスで、このやり方だと必要な方のみが持つていくので良いと思います。開演直前のホール内の案内は係員の方をもう少し配置しても良いと思います。自分の席を探しておられる方が多くみられました。（例えば各扉に配置されている方が動く等。）
青島広志の名曲レク チャーコンサート／ 県民ホール小ホール	係員の方の入口での案内や誘導は、とても丁寧に良かったです。ホール内で係員の方に何度か質問をしましたが、答えは的確で、とても感じの良い対応でした。照明が暗くなった場面では、ライトを使用しての案内がされており、他の観客の方に配慮された対応でした。
	交通遅延で数分遅刻してしまったが、オープニングトークの間に、スムーズに自席までご誘導いただいた。ありがとうございました。休憩時間には洗面所に長蛇の列が出来たが、列整備をスムーズに行っていた。
C×Baroque「大塚直 哉が誘うバロックの 世界」／県民ホール 小ホール	卓越した演奏、この長さで4,000円というのはコスパ的には大変リーズナブル。（若い世代向けの2,000円券も大変良い試みだが、どのくらい販売されたのでしょうか。）係員の対応もよい。（公演中に携帯で舞台撮影を試みる客に駆け寄るスタッフ。大変ご苦労様です。）
	受付の係員の方の対応はいつもながら丁寧に良かったです。ホール内の係員の方の対応は、列の中ほどのお客様の誘導時に端の席の方に丁寧にお声かけができていました。
	今日は車椅子使用の方がおられたのですが、係員の方が席までの誘導はもちろんのこと、そのあとの使用のタイミング等も確認されていました。開演前と休憩明けの場内放送が的確にされており良いと思いました。

公演名／会場	ご意見
眠れよい子よ／よい子の眠るところ／県民ホールギャラリー	受付の係員の方の対応は丁寧で良かったです。展示室内は照明を落としている為、パンフレットを読むことが難しいです。展示室内での注意事項を入口付近に掲示しておくと思います。展示室内の係員の方の誘導は丁寧で良かったです。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」／芸術劇場ホール	(当日の暑さを勘案して?) 冷たいレモネードの販売があったのはよかったが、トイレ後に買いに行ったときには終了していた。ちょっと残念。
	仮設客席であることから、なれた出入り口を入っても自分の席にたどり着くのに少し戸惑うようなことがあった。適切なレセプの誘導があれば良かったかもしれない。
	大ホールは、初めて行きました。5階フロアの係員の方の誘導は良いと思います。入口も2カ所の対応でスムーズでした。休憩中に3階のトイレにいきましたが、「チケットをお持ちください」の声掛けがきちんとされていました。
KAAT×新ロイヤル大衆舎Vol.2「花と龍」／芸術劇場ホール	特殊な客席、屋台の実施など、観客誘導がうまくいったのか確認できなかった。また、非常時の避難誘導などが十分に対応できる体制が整っていたのか。
	係員の方が法被を着用されていて、お祭りの雰囲気を感じられました。笑顔での対応も良かったです。入場してすぐに舞台上に案内されましたが、係員の方、屋台の販売の方も声掛けがきちんとされており、雰囲気を楽しめました。今回一番すごいと思ったのは、栈敷席の最後部の観客の方の手荷物が通路に出ないように係員の方が声掛けをされていた事です。栈敷席後ろの通路を役者さんが安全に通る為だったのかと後で分かりました。
KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」／芸術劇場大スタジオ	開演後、客席でお子さんが泣き出してしまったが、特に会場係の対応はなく、お母さんが自らお子さんを外部に連れ出すということで事なきを得た。この公演では特に年齢制限が特記されているわけではないが、チケット料金は4歳からの表記がある。実際には入場制限をかけていたかどうかは不明であるが、このようなことが起こった場合の初期対応がやや遅かったように感じた。また、もし年齢制限をしていないのであれば、開演前にそのことを観客に説明することが望ましいように思われた。
	キッズ・プログラムとしての会場づくりが不足していた。開場中の客席の緊張感やホワイエ等、上演内容以外は大人向け公演のそれと変わらなかった。当公演はキッズ・プログラムとして位置づけられているものの、係員の対応は通常の公演と何ら差異はないように見受けられた。バックステージツアーの司会進行では子どもに向けた言葉選びを意識しており好感が持てた。会場の雰囲気づくりやスタッフの表情など、子どもたちを第一の来場者として捉え、もう少し子どもたちを歓迎して迎え入れる意識があって欲しかった。
	大スタジオは、初めて行きました。5階フロアの係員の方の誘導は良いと思いましたが、エスカレーター付近に案内のボードでの表示があるとさらにわかりやすいと思います。30分前の入場案内は、整理番号順でスムーズでした。お子さんが多く参加される場合は、開演前の注意事項に「ホール内は走らないでください」を入れたほうが良いと思います。お子さんは、結構走っていました。
KAAT × Vanishing Point「品川猿の告	いつも思うことだが、チケットも紙での配布ではなくDX化を進め、効果的なデータ管理と経費節減のためにも検討してほしい。アンケートをQRコードで取ることはさら

公演名／会場	ご意見
白」／芸術劇場大スタジオ	に進めてほしい。(どのくらいデータが取れているのだろうか。また、取ったデータはどう使っているのだろうか。) 開場時の案内で、大スタジオ入口は係員の方2名体制でスムーズでした。笑顔での対応も良かったです。スタジオ内の案内はきちんとされていましたが、開場直後は2名体制でも良いと思います。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待っとく」／芸術劇場中スタジオ	中スタジオというコンパクトな劇場空間で見る演劇は演者と観客の距離も近く、演者の表情もよく見えてよかった。2時間という時間設定も問題ない。 初めて気が付いたが、客席の下に手荷物入れようのカゴが用意されているのか好感が持てる。 入場後に係員の方に「本日の定員は何人ですか」と聞いたところ、200人未満ですが、正確な人数はお伝えできませんと言われたのですが、着席後にわざわざ「先ほどは申し訳ございません、160人です。」と伝えにきてくれました。また、お客様で盲導犬を連れた方がみえた時にとても丁寧に座席まで案内をされていました。座席の下に持ち物収納用の箱があったのですが、初めての来場の為、気が付くまでに時間がかかりました。場内の告知で案内してもらおうとわかりやすいと思います。
KAAT EXHIBITION2024 「南条嘉毅展」／芸術劇場中スタジオ	入場口でLEDライトを渡されましたが、充電不足の為、場内では使用できませんでした。スタジオに入るところのドアがとても重く、開けるのに苦労しました。ドアの所に係員を配置する、カーテンを設置する等の工夫が必要だと思います。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「愛と正義」／芸術劇場中スタジオ	スリーサイドの客席も避難誘導が難しいように思われた。十分対応ができる体制が整えられているのか。 入場順整理番号で入場する方法は良いと思います。係員の方も番号を確認して誘導をきちんとされていました。入場前に並ばれている年配のお客様に係員の方が、いすを準備していました。素晴らしいです。入場後のスタジオ内の案内の係員の方が、席への誘導を的確にされていました。開演直前には空席状況の確認もしたうえで、誘導をされていました。
シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクトVol.3／音楽堂	シャトルバスを利用しました。乗場の案内もわかりやすく、良いサービスだと思います。ホール案内係の方は、どなたも丁寧でわかりやすかったです。トイレの案内も的確でした。開演前は、ホール内を巡回される方とフロアで案内される方とできちんと役割分担されていました。ホール内の空調の設定がとても良く、快適でした。(2階席の最前列)
子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せかいはともだち！」／音楽堂	10時くらいに音楽堂につきましたが、入場の列が結構長くなっていました、受付は2カ所での対応でしたが、お子さんが多い事を考えると増やしたほうが良いと思います。また、スマホでの対応については、事前に画面の表示を促す工夫も必要だと思います。(声掛けをする、ボードなどを掲示する等) ホール内の照明は、明るめで良かったと思います。(お子さんや退出への配慮がされていました。) 公演中に係員の方が、観客の方に撮影を控えていただく為の声掛けを何回かされていました。これは、事前のアナウンスでの告知が演目ごとにあれば防げたと思います。(パンフレットに具体的に撮影、録

公演名／会場	ご意見
	音は禁止と記載するのも良いと思います。)
2人のアムランデュ オリサイタル／音楽 堂	入場口が2カ所4名での対応で手際よくできており、良いと思います。開演10分前 くらいのホール内の案内はきちんとできていましたが、もう少し人数がいてもよいので はと思います。③ホワイエでのパンの販売は、良いと思います。(同伴者が食べていま したが、おいしいとのことでした。) 女性客が多く、休憩時の化粧室は長蛇の列となったが、レセプションの方々が安 全にスムーズに誘導されていた。
第57回音楽堂クリ スマス音楽会ヘンデ ル「メサイア」全曲 ／音楽堂	開場時から開演直前まで、ホール内に複数の係員の方が配置され、座席への案内がき ちんとされていました。開演前の女子トイレへの案内や、座席横におかれた荷物への声 掛けなど細やかな対応がされていました。アンケートへの協力のアナウンスがされてい ましたが、県民ホールのような窓際のカウンターがあれば書きやすいと思います。
音楽堂室内オペラプ ロジェクト第7弾 濱田芳通&アントネ ッロ モンテヴェルディ オペラ「オルフェオ」 ／音楽堂	ホワイエでの飲食サービスなかなかいい。女性トイレのキューアップはいつもすさま じい。隣接施設に案内するなど工夫ができないか。ホワイエが狭い。暖かくなると屋外 も利活用してはどうか。 受付の係員の方は4カ所に配置されてスムーズでした。客席への誘導も同時にされて おり丁寧でした。開演直前に席を探されているお客様への声かけもされており丁寧でし た。 開演間際に到着された方の席には、誤って座っていた他の観客がいたが、係員の方が スムーズに対応し、お二人とも自席で最初から鑑賞することができていた。

IV 施設について

公演名／会場	ご意見
オープンシアター 2024／県民ホール 大ホール	飲食スペースの案内が分かりづらかったです。当日は6階の会議室が開放されてお り、授乳スペースも併設されていました。室内は冷房も程よく効いており、とても快適 でした。 ホールでの公演終了後に、ギャラリーでの展覧会を鑑賞しました。複数の展覧会が同 時開催されており、その規模に圧倒されました。展示スペースもゆったりとしていて、 とてもくつろげる空間でした。
サルヴァトーレ・シ ャリーノ作曲「ロー エングリン」／県民 ホール大ホール	1階の入り口の傘立てだが、故障だろうか、鍵がないものが多い。また、3階の女子 トイレの(一番右の)水台の水が出ない。センサーの故障だろうか。休館までにはまだ 時間があるので、ご確認いただければ幸いです。 EVあるいはESCの設置は、この規模の劇場では必須である。また、客席を潰してでも ホワイエの面積を拡張する必要がある。
青島広志の名曲レク チャーコンサート／ 県民ホール小ホール	今回初めて、小ホールにて鑑賞しましたが、ホール内への入場手段が、階段のみなの で、年配の方には、不便なのではと感じました。※係員の方にお聞きしたところ、車椅子 の方の入場ルートは確保されているとの事でした。
C×Baroque「大塚直 哉が誘うバロックの	劇場の施設設備がやや狭く、古いことは否めない。ホワイエで劇場の年表が展示され ていて、多くの観客が写真を撮りながら、見入っていた。祖父の時代からこの劇場に通

公演名／会場	ご意見
世界」／県民ホール 小ホール	っていたと言っている観客もあり、これまで歴史を刻んできた施設であることを改めて実感した。
	ホワイエが狭いこと、客席への動線が階段であることなど、今日的な要求に対して物理的な制約がある。このことを反面教師として新たな施設整備が行われることを期待したい。
	現状の座席番号の表示は、やや見づらいと思います。（特に年配のお客様）座席の両端の所に列番号があると分かりやすいと思います。建て替えの時に配慮をお願いします。
	大塚さんがアフタートークでも触れていましたが、オルガンやチェンバロの今後が気になりました。素晴らしい楽器ですので、新しい県民ホールでも活用できるよう検討をお願いいたします。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」／芸術劇場ホール	KAAT自体はビルの中にあるという物理的制約から、ホワイエやトイレは当然狭いが、客数の関係だろうか、幕間でもさしたる混雑もなく、終演後の客の流れもスムーズだったと思う。もちろん、エレベーターに皆整然と乗ったということだが。客も皆慣れてきたということか。
	入り口で戸惑うということは、非常時の避難でも戸惑うことが想定される。このような仮設客席を使用する場合の避難誘導計画は十分に行われているのだろうか。
	1階のロビーのところに時計が見当たりません。一カ所でも良いのであれば便利だと思います。大ホール内に時間の表示がありません。あれば休憩時間の確認、終演時間の確認に便利です。座席の列表示がフロアの階段部分にありわかりやすかったです。大ホール内の出入口の階段がやや不便に感じました。あと足元が暗いのも気になりました。
KAAT×新ロイヤル大衆舎Vol.2「花と龍」／芸術劇場ホール	今回初めて舞台の上を見学する事ができました。広さも奥行きもあり、多目的に使用できるように造られている事を実感しました。今後は演劇以外のプログラムにも活用してほしいと思います。
KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」／芸術劇場大スタジオ	ホールのロビーにレストスペースが多くあり、とても良いと思います。可能であれば、1階フロアのテーブル席に公演情報を掲示しても良いのではと思いました。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待っとく」／芸術劇場大スタジオ	いつも思うが、1階のカフェはいつも満席で、サービスも遅い。著名な観光地に訪れる時間的余裕のある観光客をメインターゲットに、ゆったりと飲食を楽しむことがコンセプトなのだろうが、時間的制約のある観劇客には利用しづらい。
	単純な事ですが、ホール（中スタジオ）の位置がわかりにくかったです。くどくない程度に、案内プレートの取付をしても良いと思います。中スタジオにつながる通路のソファについてですが、入場の時は気にならなかったのですが、退場の時に通路の導線の妨げになっていると感じました。現状のスタジオの壁面側ではなく、吹き抜け側に置くほうが良いと思います。
KAAT EXHIBITION2024	例えば、建物外の案内ボードに「本日開催中」「10月20日まで」などのビラを取付ける。建物内の目立つところにポスターを掲示する等。（ポスターは1箇所確認できまし

公演名／会場	ご意見
「南条嘉毅展」／芸術劇場中スタジオ	たが、目立たない場所でした。）
シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクトVol.3／音楽堂	2階席に行くのに階段のみというのは、不便だと思います。階段昇降機はありますが、普通に階段が使用しづらい方も多いと思います。一基でもよいので、エレベーターの設置ができれば良いと思います。
2人のアムランデュオリサイタル／音楽堂	ホール内の座席表示は、いすの背もたれ部分のみなので、人によっては見えづらいと思います。1階席の最後尾のところに可動式のパネルなどで表示すれば、わかりやすくなるのではと思います。
第57回音楽堂クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲／音楽堂	音楽堂では、いつも思うことだが、トイレには課題が残る。今回も、特に女性トイレは長蛇の列で、年配の男性から、女性は大変だねなどと同情された。実際、並ぶ客もだが、誘導するスタッフも大変だったと思われる。なお、和式のトイレがいくつかあるが、こちらは不人気で、使う人はほぼいなかった。洋式に変更することはないのだろうか。今回は、お菓子やパンなどの販売があったようだが、インターミッションの時間も限られ、また、トイレに時間がかかることから、ゆったり飲食を楽しむような雰囲気はない。いつもながら残念に思うことである。
音楽堂室内オペラプロジェクト第7弾 濱田芳通&アントネッロ モンテヴェルディ オペラ「オルフェオ」／音楽堂	音楽堂では、いつも思うことだが、トイレには課題が残る。今回も、特に女性トイレは長蛇の列で、誘導するスタッフも大変だったと思われる。なお、和式のトイレがいくつかあるが、こちらは不人気で、使う人はあまりいなかった。洋式に変更できないのだろうか。ただ、皆リピーターで、こういった事情に慣れており、（幕間の早い時間帯に並ぶ人と、後の時間に並ぶ人など）時間分散して利用している。また、最近はお菓子やパンなどの販売があり、人気である。この時期なので暖かいドリンクなどもあったらよかったように思う（もしかしてそういうサービスもあったのでしょうか。気が付きませんでした。）インターミッションの時間も限られ、また、トイレ時間がかかることから、ゆったり飲食を楽しむような雰囲気はなく、この点は残念である。

V 自由意見

公演名／会場	ご意見
オープンシアター2024／県民ホール大ホール	次年度は同じスケジュールでの開催であれば、県民ホールは使用できないと思いますが、オープンシアターの企画は継続して欲しいと思います。その際、バレエでもオペラでもいいのですが、「生オケ」は必ず出演して欲しいと思います。生の楽器の音には、お子さんにも伝わる魅力があると思います。お子さんにとっては「聴く体験」も重要ですが、実際に楽器に触れて「音を出してみる体験」もよいのではと思います。今回も実際にオーケストラピットの打楽器担当の方が小型の楽器をお子さんたちに手渡しして音を体験させてくれていました。 ギャラリーで同時開催されていた、「第62回日本現代工芸展」も大変素晴らしく、圧巻の展示だった。[みんなの空き地]チラシ裏に情報記載されていたが、私が終演後に見学した折には、オープンシアター来場者と思われる方はほとんどいなかった。主催企画ではなくともアートに触れる機会として、ギャラリーへの案内をもっと促すなどのタイ

公演名／会場	ご意見
	アップを検討してもよいのかもしれない。ただしむき出し(ケースに収容されているわけではない)展示なので、お子さん達が多いと破損等の不安要素があったのかもしれないですね。
サルヴァトーレ・シャリーノ作曲「ローエングリン」／県民ホール大ホール	故一柳監督の意思を継いで、オペラの最前線を探るプログラムを挑戦的行ったことは高く評価したい。こういった新規性、話題性のある独自の舞台を提供することは、神奈川県文化振興拠点としての県民ホールの重要な柱の一つと思われる。また、チケット価格を戦略的に設定している点も評価したい。5,000円のチケットは完売したとのことだが、何枚くらいご用意されたのだろうか。一方で、多くの県民に愛される舞台もぜひ上演して欲しい。
青島広志の名曲レクチャーコンサート／県民ホール小ホール	青島先生のたぎる情熱を浴びたひと時となりました。先生の知識量、サービス精神にはあらためて敬服します。終盤で休館についても触れていらっしゃいましたが、ともに歩んで来られたホールへの温かい愛情が感じられました。また、出演者の皆さんにとっても観客の皆さんにとっても、休館による機会喪失の大きさをあらためて感じる機会ともなりました。
C×Baroque「大塚直哉が誘うバロックの世界」／県民ホール小ホール	ホールは、観光地横浜に立地し、海を臨むロビーや、交通の便の良さなどとともに、多様で優れた活動で、これまでの多くの観客を集めてきた素晴らしい施設と思う。今回の公演もそうだが、他ではめったに見られないような挑戦的かつ良質な公演を実施できる企画力は特筆に値する。また、アーティストやスタッフなどの人的資源、そして、これらが合わさって長い年月をかけて築いてきたブランド。確かに施設老朽化は否めない。なので、いったん閉館して新規再開はやむをえないと思うが、今後、こういったソフトの資本を新施設稼働までの間、どう活かし、ブランド力を維持していけるのでしょうか。ぜひ良い形で道筋を見出してもらいたいと思っています。
	オルガンを今後も活かせるように配慮されたい
	「バロック音楽の世界」の企画は、Vol.5までは計画されているようですが、今後も継続して欲しいと思います。ソロ楽器、歌曲、小編成のアンサンブル等を「KAAT」のステージでやるのも面白いと思います。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」／芸術劇場ホール	話題性、新規性のある独自の舞台を提供することは、KAATのミッションの重要な柱の一つと思われる。チケット価格を戦略的に設定している点も評価したい。ちなみに、これでどのくらい高校生以下やU24が鑑賞したのか知りたいところである。
	素晴らしい作品をKAATは生み出すことができる劇場であることをアピールするためにも、作品をどんどん地域に発信していくことにも尽力されたい。そのことにより多くの観客が作品を観て、評価してくださるだけでなく、地域の劇場とのネットワークにもなり、さらには神奈川県のアピールにもなることを期待するとともに関心人口を増やしていくことに貢献できると考える。もちろん、旅に行く技術を含めたスタッフの人事交流や情報交流も劇場を育てる大きな効果となることを意識する必要があるのではないか。
KAAT×新ロイヤル大衆舎Vol.2「花と	筒井康隆や火野葦平など取り上げにくい作家の作品を舞台化する事の面白さが発揮できているように思う。また県内巡回公演なども面白い。芸術監督の魅力発信が行えて

公演名／会場	ご意見
龍」／芸術劇場ホール	いるように感じる。これからの試みも注目をしていきたい。
KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」／芸術劇場大スタジオ	素晴らしい作品をKAATは生み出すことができる劇場であることをアピールするためにも、作品をどんどん地域に発信していくことにも尽力されたい。そのことにより多くの観客が作品を観て、評価してくださるだけでなく、地域の劇場とのネットワークにもなり、さらには神奈川県のアピールにもなることを期待するとともに関心人口を増やしていくことに貢献できると考える。もちろん、旅に行く技術を含めたスタッフの人事交流や情報交流も劇場を育てる大きな効果となることを意識する必要があるのではないか。
	モニタリングシートで「入場料金の設定について」という評価項目がありますが、評価の「高い～安い」は、記入しづらいと思います。他の項目同様「良い～悪い」で良いのではと思います。
KAAT × Vanishing Point「品川猿の告白」／芸術劇場大スタジオ	故一柳監督の意思を継いで、オペラの最前線を探るプログラムを挑戦的行ったことは高く評価したい。こういった新規性、話題性のある独自の舞台を提供することは、神奈川県の文化振興拠点としての県民ホールの重要な柱の一つと思われる。また、チケット価格を戦略的に設定している点も評価したい。5,000円のチケットは完売したとのことだが、何枚くらいご用意されたのだろうか。一方で、多くの県民に愛される舞台もぜひ上演して行ってほしい。
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待っとく」／芸術劇場中スタジオ	素晴らしい作品をKAATは生み出すことができる劇場であることをアピールするためにも、作品をどんどん地域に発信していくことにも尽力されたい。そのことにより多くの観客が作品を観て、評価してくださるだけでなく、地域の劇場とのネットワークにもなり、さらには神奈川県のアピールにもなることを期待するとともに関心人口を増やしていくことに貢献できると考える。もちろん、旅に行く技術を含めたスタッフの人事交流や情報交流も劇場を育てる大きな効果となることを意識する必要があるのではないか。
	配布されたチラシについてですが、量が多すぎだと思います。理想からいえば、KAATのものだけですが、現状で工夫できるとすれば、アンケート告知の下にKAATのチラシをかためておくの良いと思います。
KAAT EXHIBITION2024「南条嘉毅展」／芸術劇場中スタジオ	KAATのプロモーションの件ですが、日本大通りの改札を出てすぐの壁面に案内ボードがありますが、そこを有効活用して、プログラムの案内をするのはどうでしょうか。
シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクトVol. 3／音楽堂	久しぶりに音楽堂で、音楽を聴きましたが、あらためて素晴らしいホールだなと思いました。
2人のアムランデュオリサイタル／音楽堂	今回のプログラムに限らず、事前の情報には「終演予定」が告知されていないものが、多いと感じます。当日にホールに行くと掲示されている事も多いことから、事前の告知は可能なのではと思います。終演予定がわかる事がそのプログラムに行く動機づけにな

公演名／会場	ご意見
	る場合があります。
第57回音楽堂クリスマス音楽会ヘンデル「メサイア」全曲／音楽堂	素晴らしい公演で、堪能した。まず、これだけ音響のよい施設があることを改めて大切にすべきと思う。また、高齢化著しいクラシックの古楽参加者／観客に、高校生を段階的に巻き込んでいくプロジェクトが着実に進展していることは本当に素晴らしいことと思う。今後もぜひ着実に進めていってほしい。
音楽堂室内オペラプロジェクト第7弾 濱田芳通&アントネッロ モンテヴェルディ オペラ「オルフェオ」／音楽堂	素晴らしい公演で、堪能した。これだけ音響のよい施設があり、それを最大限活かす企画を立てられる人材が揃っていることを、改めて高く評価したい。ただ、ベビーブーマー世代を中心に観客の多くが高齢、熟年のように見受けられる。繰り返しとなって恐縮だが、こういった素晴らしい公演は将来を担う若い世代にもぜひ経験してもらいたいと強く思う。多様な項目を盛り込んだアンケート調査も実施されているので、貴重なデータを分析して今後の新規観客の掘り起こしにもつなげていってほしい。